

「子どもにツケをまわさない」講演会
アンケート結果報告書

開催日時:2013年3月16日(土)14:00～

会場:名古屋市北文化小劇場

1 はじめに

大人達に難しい問題を先送りされ、将来に希望を持たなくなっている子供達の現状を鑑み、「子供にツケをまわさない」という観点から、今回は、「老いを楽しく充実したものにする前向きな生き方」を提唱されている同朋大学社会福祉学部教授の伊東まり子先生を招き、「年を重ねるごとに成功する！サクセスフル・エイジング」について講演いただきました。元気なお年寄りが増えれば医療費と介護費が削減され子や孫の負担が少なくなりますし、消費や社会貢献の担い手になることで社会が活性化されると考えられます。講演会後のアンケートでは、参加者の健康に関する現状や生活態度、現在の悩みややりがい等について調査することで、市民(区民)の現状把握と今後の施政の参考資料とします。

講師プロフィール

伊東まり子氏

同朋大学社会福祉学部教授。経済学博士。

静岡県清水生まれ。兵庫県長寿社会研究所研究員を経て現職。

専業主婦から一念発起し大学講師、助教授、教授へキャリアアップ。

著書に「楽しく学ぶ高齢者福祉—まり子先生のサクセスフルエイジング入門」など多数。

「サクセスフルエイジング」や「男女共同参画」などをテーマに「聴くと元気になる」「パワーをもらえる」と反響の大きい講演を、全国で年に数十回パワフルにこなしている。

＜講演テーマ＞

いつまでも、若く、美しく、元気の秘訣アレコレ「サクセスフル・エイジング・年齢を重ねるごとに成功する」

関口威人(せきぐち たけと)氏

1973年横浜市生まれ、中日新聞記者を経て2008年からフリー。

防災、災害救援、環境、地方自治、NPOなどをテーマに走り回る。

環境情報誌「Risa」編集長。名古屋市北区在住。

著書「ぼくたちは何を失おうとしているのか—ホソネの生物多様性」(樹林舎書房)

＜講演テーマ＞

[経験、特技を活かして社会貢献する高齢者たち]

2 アンケート調査項目について

■あなたについて

性別 男性 女性
年齢 10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代以上
職業 会社員・公務員 自営業 会社・団体役員 主婦 学生 無職
学区(町名)

■講演会について

テーマ 大変良い 良い 普通 悪い
内容 大変良い 良い 普通 悪い

■現在の健康状態はいかがですか？

健康 どちらかといえば健康 健康とはいえない

■健康のために心がけていることは？(複数回答可)

規則正しい生活 睡眠を十分にとる 食事・栄養 軽い運動(散歩など) スポーツ 酒・タバコを控える
特にない その他

■あなたが充実感や生きがいを感じることは？(複数回答可)

旅行・レジャー 地域活動 ショッピング スポーツ ボランティア活動 仕事 家庭菜園・園芸
友人とのつきあい 家族との団欒 読書・テレビ パソコン・インターネット その他

■あなたが不安に感じることは？(複数回答可)

健康 老後 生活資金 年金 介護 住まい 地震など自然災害 詐欺などの犯罪 近所との人間関係
地域社会とのつながり その他

■最近、ストレスがたまっていると感じますか？ また、ストレス解消法は？

はい いいえ どちらともいえない
その解消法は？

■講演前と後で、健康や生活態度について考えが変わりましたか？

はい いいえ どちらともいえない
具体的には？

3 アンケート回答者について

講演会参加者約100名に対してアンケートを実施。その内、72名よりアンケートの回答を得た。男女比および年齢構成、職業、居住地については以下の通りである。

	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	NA	合計
男性	1	0	0	1	4	9	16	0	31
	3.23%	-	-	3.23%	12.90%	29.03%	51.61%	-	100%
女性	0	1	0	2	5	10	21	2	41
	-	2.44%	-	4.88%	12.20%	24.39%	51.22%	4.88%	100%
男女計	1	1	0	3	9	19	37	2	72
	1.39%	1.39%	-	4.17%	12.50%	26.39%	51.39%	2.78%	100%

	会社員・公務員	自営業	会社・団体役員	主婦	学生	無職	NA	合計
男性	8	4	1	0	0	13	5	31
	25.81%	12.90%	3.23%			41.94%	16.13%	100%
女性	2	3	1	16	1	8	10	41
	4.88%	7.32%	2.44%	39.02%	2.44%	19.51%	24.39%	100%
男女計	10	7	2	16	1	21	15	72
	13.89%	9.72%	2.78%	22.22%	1.39%	29.17%	20.83%	100%

アンケート回答者の居住地(学区または町名)

辻(3名) 城北(7名) 東志賀(6名) 金城(3名) 若鶴町 如意(2名) 金田町(3名) 楠(5名) 鳩岡町 飯田(2名)
光城(4名) 名北(5名) 六郷(3名) 宮前 杉村(4名) 黒川東 志賀町(3名) 飯田東町 上飯田北町 大杉
三軒町 西味鏡
<区外> 東区黒門町 名東区猪高 瀬戸市 緑区

参加者に関する特記事項

- ・参加者の9割強が60歳以上であった。
- ・70歳以上の参加者が半数以上を占める。
- ・男性の4割強が仕事に従事している。

講演会テーマが高齢者の関心が高く、参加者の年齢別割合に顕在化したものと思われる。

4 講演会のテーマについて

同朋大学大学院 伊東まり子教授、ジャーナリストの関口威人氏の講演テーマ高い評価を得た。中でも、伊東教授のテーマには高い関心が寄せられた。

伊東まり子氏

	大変良い	良い	普通	悪い	NA	合計
男性	14	7	-	-	10	31
	45.16%	22.58%	-	-	32.26%	100%
女性	16	7	6	-	12	41
	39.02%	17.07%	14.63%	-	29.27%	100%
男女計	30	14	6	-	22	72
	41.67%	19.44%	8.33%	-	30.56%	100%

関口威人氏

	大変良い	良い	普通	悪い	NA	合計
男性	6	11	1	-	13	31
	19.35%	35.48%	3.23%	-	41.94%	100%
女性	10	8	7	-	16	41
	24.39%	19.51%	17.07%	-	39.02%	100%
男女計	16	19	8	-	29	72
	22.22%	26.39%	11.11%	-	40.28%	100%

5 講演会の内容について

講演会の内容については、参加者から良いとの回答を得た。ただ、無回答が多かったのが残念である。

伊東まり子氏

	大変良い	良い	普通	悪い	NA	合計
男性	9	8	-	-	17	31
	29.03%	25.81%	-	-	54.84%	100%
女性	15	7	2	-	24	41
	36.59%	17.07%	4.88%	-	58.54%	100%
男女計	24	15	2	-	41	72
	33.33%	20.83%	2.78%	-	56.94%	100%

関口威人氏

	大変良い	良い	普通	悪い	NA	合計
男性	2	10	2	-	14	31
	6.45%	32.26%	6.45%	-	45.16%	100%
女性	8	9	5	-	22	41
	19.51%	21.95%	12.20%	-	53.66%	100%
男女計	10	19	7	-	36	72
	13.89%	26.39%	9.72%	-	50.00%	100%

6 「現在の健康状態」について

講演会に参加されるだけあって、参加者の現在の健康状態は概ね良好であることが伺える。

	健康	どちらかという健康	健康とはいえない	NA	合計
男性	13	15	2	1	31
	41.94%	48.39%	6.45%	3.23%	100%
女性	18	17	4	2	41
	43.90%	41.46%	9.76%	4.88%	100%
男女計	31	32	6	3	72
	43.06%	44.44%	8.33%	4.17%	100%

7 「健康のために心がけていること」について

男女ともに、「規則正しい生活」、「軽い運動」、「食事・栄養」が上位にランクされた。また、女性では「睡眠を十分とる」が4割強に上り、忙しい主婦の実態が垣間見える。男性では「酒・タバコを控える」、「スポーツ」が女性と比較して高い数値を示している。

	男性		女性		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
規則正しい生活	11	35.48%	21	51.22%	32	44.44%
睡眠を十分とる	6	19.35%	17	41.46%	23	31.94%
食事・栄養	11	35.48%	22	53.66%	33	45.83%
軽い運動(散歩など)	12	38.71%	20	48.78%	32	44.44%
スポーツ	5	16.13%	3	7.32%	8	11.11%
酒・タバコを控える	4	12.90%	1	2.44%	5	6.94%
特に無い	3	9.68%	3	7.32%	6	8.33%
その他	1	3.23%	2	4.88%	3	4.17%
NA	1	3.23%	0	-	1	1.39%
回答者数	31		41		72	

<その他> ボランティア活動に参加している。(男性)

何事もバランスを考えている。(女性)

フォークダンスを楽しんでいる。(女性)

8 「充実感ややりがいを感じること」について

男性の1位は「仕事」と「旅行・レジャー」、次いで「スポーツ」がランクされた。一方、女性では半数以上が「友人とのつきあい」を上げ、「読書・テレビ」、「家族との団欒」、そして「ショッピング」が上位を占めた点は、男性、女性の大きな違いである。また、「ボランティア」を上げた参加者が2割と関心の高さが伺える。

	男性		女性		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
旅行・レジャー	10	32.26%	16	39.02%	26	36.11%
地域活動	4	12.90%	1	2.44%	5	6.94%
ショッピング	1	3.23%	10	24.39%	11	15.28%
スポーツ	8	25.81%	3	7.32%	11	15.28%
ボランティア活動	6	19.35%	7	17.07%	13	18.06%
仕事	10	32.26%	8	19.51%	18	25.00%
家庭菜園・園芸	2	6.45%	7	17.07%	9	12.50%
友人とのつきあい	5	16.13%	24	58.54%	29	40.28%
家族との団欒	5	16.13%	13	31.71%	18	25.00%
読書・テレビ	4	12.90%	15	36.59%	19	26.39%
パソコン・インターネット	1	3.23%	5	12.20%	6	8.33%
その他	1	3.23%	5	12.20%	6	8.33%
NA	3	9.68%	0	-	3	4.17%
回答者数	31		41		72	

<その他> 釣り(男性) 演歌歌手の応援(女性) 手芸(女性) 映画鑑賞(女性)

9 「不安に感じること」について

不安に感じることの1位は「地震などの自然災害」であった。男女とも年金介護を含め老後に何らかの不安を感じている。また、男性では「地域社会とのつながり」に不安を感じている人が10人に1人に上った。

	男性		女性		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
健康	5	16.13%	12	16.90%	17	23.61%
老後	8	25.81%	15	21.13%	23	31.94%
生活資金	4	12.90%	6	8.45%	10	13.89%
年金	8	25.81%	11	15.49%	19	26.39%
介護	6	19.35%	11	15.49%	17	23.61%
住まい	0	-	0	-	0	-
地震などの自然災害	7	22.58%	17	23.94%	24	33.33%
詐欺などの犯罪	0	-	2	2.82%	2	2.78%
近所との人間関係	0	-	0	-	0	-
地域社会とのつながり	3	9.68%	0	-	3	4.17%
その他	2	6.45%	0	-	2	2.78%
NA	2	6.45%	5	7.04%	7	9.72%
回答者数	31		71		72	

<その他> 日本の将来(男性) 原発(男性)

10 「ストレスが溜まっていますか？」について

ストレスを感じている参加者は4人に1人の割合だったが、男性では4割近くの人がストレスを感じている様子が分かった。また、女性の「どちらともいえない」が3割近くに上ったことが、気になる点である。

	男性		女性		合計	
はい	12	38.71%	6	14.63%	18	25.00%
いいえ	14	45.16%	18	43.90%	32	44.44%
どちらともいえない	3	9.68%	12	29.27%	15	20.83%
NA	2	6.45%	4	9.76%	6	8.33%
回答者数	31		41		72	

<ストレス解消法>

スポーツ(2人)、友人との会話(7人)、外出(2人)、毎朝のジョギング、マラソン(2人)、カラオケ、体操(2人)、ボランティア活動、読書、インターネット、睡眠、旅行(4人)、サウナ、家庭菜園、音楽鑑賞、ショッピング(2人)、お笑いテレビ番組、希望が持てるように学ぶ、悩まない、問題から逃げる

11 「講演前後で健康や生活態度の考え方が変わりましたか？」

男性、女性とも、講演後に半数が「健康や生活態度に対する考えが変わった」と回答。「いいえ」と回答した参加者は5%にとどまった。また、どのように変わったかについては、前向きに生きようとする回答がほとんどで、講演会の意義があったと考えられる。

	男性		女性		合計	
はい	16	51.61%	24	58.54%	40	55.56%
いいえ	2	6.45%	2	4.88%	4	5.56%
どちらともいえない	6	19.35%	4	9.76%	10	13.89%
NA	7	22.58%	11	26.83%	18	25.00%
回答者数	31		41		72	

<どのように変わりましたか？>

若くなりました。もう一度聴きたい。 学ぶことをやめない。少しずつ自分を変えたい。暦年齢とおさらば。これからも社会の一員として努力を(2人)。

スクワットを頑張る。老化は気の持ちよう。前向き姿勢で生きる。会話と身体を動かす。死ぬまでやりたいことを続ける。 ボランティア活動を頑張る(2人)。

一歩ずつ前に進めそう。65歳、これからが第3に人生だ。年だからといって老けていけない。死ぬまで成長をモットーに生きる。

満86歳、100歳まで頑張る。